

# ASAP

2024/No.2 [季刊情報誌アサップ]

Value Producing Management  
**VPM**<sup>®</sup>  
人、企業の価値最大化に貢献する

現場を企業の成長エンジンに

## CONTENTS

- 1 企業インタビュー**  
労働生産性200%への挑戦！  
日本一のトンカツ工場&100億円企業を  
めざして取り組むMIB活動  
(Management Improvement Boost)  
サヌキ畜産フーズ株式会社

- 2 活動レポート**  
皆の想いを叶え、理想の生産拠点を実現するために  
100年企業をめざした、  
新工場リニューアルプロジェクト!!  
株式会社リンレイ

- 3 セミナースケジュール**  
テクノ技術セミナー・経営革新セミナー



COMPANY INTERVIEW

企業インタビュー

サヌキ畜産フーズ株式会社



## 労働生産性200%への挑戦！ 日本一のトンカツ工場&100億円企業を めざして取り組むMIB活動 (Management Improvement Boost)

サクサクの衣とジューシーな肉が口の中で絶妙のバランスを生み出す。そんな、世界を魅了する和食となったトンカツをはじめ、和洋中の惣菜、ハム・ベーコンまで、たくさんの加工食品は、いまや日本の食卓に欠かせない存在となっている。

こうした、私たちの食生活を豊かにするさまざまな加工食品を創り出しているのが、香川県にあるサヌキ畜産フーズ株式会社だ。1980年(昭和55年)10月9日にサヌキ畜産加工協同組合・組合員5企業によって設立された同社は、単一工場として日本一の製造数量をめざし、原料肉にこだわり、トンカツをはじめとする多彩な衣付け製品から冷凍惣菜や加工品(ハム・ベーコン類)、さらにはOEM製品開発、自社ブランド展開まで手掛けている。『すべては、「本物のおいしさ」がもたらす「人々の笑顔」を創造するために～笑顔創造業～』を事業ビジョンとして掲げ、自らが消費者として「本物のおいしさとは何なのか」を考え、その実現のために川上(自社ブランド讃玄豚)、川中(トンカツ・惣菜製造)、そして川下(精肉・トンカツ・惣菜の販売)までの垂直経営を実践。「本物のおいしさ」を深く追求することで、人々の笑顔を創り出している。

節目の45期となる2024年は『未踏』をテーマに、前期グループ売上90億円を突破し100億円企業に、そして日本一のトンカツ工場となるべく日々挑戦を続ける同社。これからの未来を見据えて2021年から導入されたMIB活動について、代表取締役社長 増田 浩 様、生産本部 本部長 坂田 隆一 様、生産本部トンカツ事業部 部長兼本社工場 工場長 岡田 裕作 様からお話を伺った。

## 祖父の代から続いた養豚業をもとに 加工・製造の事業へ発展

### ◆創業の経緯についてお聞かせください

**増田氏** もともと、祖父が養豚業を営んでおり、その後、養豚だけではなく、加工などの食品製造に着眼点を持ち、事業に進展していきました。豚肉は、まず内臓などを取り除き、半分に切られた枝肉と呼ばれる状態に解体されます。次にレーンに吊



代表取締役社長  
増田 浩氏

し上げて脱骨し、部分肉へと加工していきます。大貫(たいかん)という親豚の脱骨を行うのですが、当社はこの親豚の提供先であった5企業の出資によって協同組合として設立されました。その後、脱骨作業や部分肉への加工だけではなく、一般のお客様に向けた商品開発や、当時の世の中にはなかった定型・定量となるローストンカツの前処理工程を行うなど、徐々に事業を発展していきました。こうして、なんとか事業を継続していましたが、本来の協同組合としての生業という形からは離れてしまっており、やはり転換していかなければならないということで、2010年、私が社長になった時に株式会社化をしました。協同組合ですと、どうしても狭い中で仕事を行う必要があるため、より多くのお客様に販売できるような形として株式会社化し、会社組織として運営するようになりました。

## 『日本一のトンカツ工場になる』 という夢の実現にむけて

### ◆御社ならではの強みについてお聞かせください

**増田氏** 主力商品はトンカツを中心とした衣付け商品の製造となります。大きな豚肉の部位としては数種類ですが、製品の中で使い分けをしながら、200種類以上の製品へ仕上げていきます。もともと、当社は豚肉の前処理工程を請け負っていたところから始まりますから、そこを確立させた上で衣付け商品の製造へと展開しましたので、こうした一連の流れを全て一貫して製造できる場所は強いと思います。さらに、自

社ブランド讃玄豚の養豚業、アンテナショップ『ミートピアサヌキ』での一般のお客様へ向けた製品の販売も行っており、まさに川上(自社ブランド讃玄豚)、川中(トンカツ・惣菜製造)、そして川下(精肉・トンカツ・惣菜の販売)までの全工程を自社グループ内で完結できることも大きな強みになっています。

### ◆大切にされている考え方や経営理念についてお聞かせください

**増田氏** 株式会社へと事業を転換する際、同時に現在の経営理念や事業ビジョンを一から考えて制定しました。従業員の皆さんには、機会がある度に込められた意味を説明しながら話をさせてもらっています。やはり困った時こそ、判断基準の1つとして経営理念が役立つということを改めて認識してもらっています。『すべては、「本物のおいしさ」がもたらす「人々の笑顔」を創造するために』という事業ビジョンですが、『笑顔創造業』というサブタイトルも入れながら、単なる食肉製造業ではなく、笑顔を作り続けて、それを広げていくという想いを込めながら事業を展開しています。

それと同時に、私の父である先代からもそうでしたが、増田家には『日本一のトンカツ工場になる』という夢がありますので、それを実現していくために新工場や30年前に作った製造ラインを改修するなど、設備の増強に着手しました。業績も順調に推移しており、日本一のトンカツ工場になるための設備が整った状態だと思っています。従業員の皆さんには、定期的な経営計画発表会の場で日本一のトンカツ工場、そして100億円の売上を目標に掲げ、共有してもらいながら、日々奮闘しています。

## いつかは明けるコロナ後の 世界へ向けた準備をしておくために

### ◆コンサルティング導入のきっかけについて

**増田氏** これまでに3度のコンサルティングの経験があります。1回目は私自身が専務になった35歳の時でした。その3年後には協同組合から株式会社への組織変更と同時に代表取締役社長に就任することになりますが、経営理念や事業ビジョン、会社組織の考え方など

を学ぶことができました。

2回目は、組織が変わっていく中で現在の生産本部長である坂田が品質管理課の課長から工場長へ昇格するタイミングですね。恐らく当時、本人は困惑して、何をしたらよいかもわからない状態だったと思います。そこで、坂田をまず成長させてほしいとコンサルタントの方にお願ひし、本人もマンツーマンで指導を受けながら、生産性の上がり方や業績の取り方など、いろいろな物の見方も学び、勉強してくれたと思います。

そして3回目は、今回のテクノ経営さんによるコンサルティングとなります。当時、コロナ禍の中で始まったかと思いますが、「減産時における戦い方」というオンラインセミナーを視聴させていただいた後に、1日工場診断を依頼させていただきました。ちょうど、今の工場長である岡田が工務課から抜擢され、製造畑ではないところからの工場長が二代続く形となり、また他のメンバーも人事異動で新しい役職として頑張っていた中、ミドルのボトムアップといった人材育成にもつながるのではないかという期待もありました。と同時に、コロナ禍のため、実際の製造では非常に仕事が減り、1日中ラインを止めるといったような状況も発生していました。そういった中で、あえて投資をするというか、いつかは明けるコロナにむけて、やはり準備をしておくべきだと考えながら、人材育成とともに生産性をしっかりと上げ、受注が戻ってきた時に力を発揮するだろうという期待を込めて導入を決めました。

## コロナ禍で感じた危機感や、問題の裏に潜む真の原因追究が課題

◆弊社のコンサルティングを導入する前に、どのような課題をお持ちだったのでしょうか

**坂田氏** 最初のきっかけは、テクノ経営さんから届いた「減産時における戦い方」のセミナーを案内するダイレクトメールでした。もう一人、役員の方にも同じようなメールが届いており、たまたま朝のミーティングで「こういったダイレクトメールが届いている」ということを幹部の方にも話をして、時間がある人は視聴してみてもどうかという提案もありました。その背景には新型コロナウイルスの感染拡大があり、弊社の

主力商品である冷凍未加熱カツ類をお取り扱いいただけるお得意先様の休業や時短営業などの影響によって、工場の一部の稼働を1週間止めるなど、危機感を覚える中での『減産時における戦い方』というタイトルは胸に刺さり、視聴させていただくことにしました。

**岡田氏** 私はもともと、工務課という畑違いの部門から製造部へ異動となり、正直不安しかないという状況でした。ただ、工務課の時から思っていたことですが、現場で起こった問題に対処する際、製造ラインをできるだけ止めないようにするため、どうしても一時的な解決までしか対応できないことがよくありました。本当に問題となった原因の追究までは、その場では分からず、課題に感じていました。私自身、製造工程の把握から始めなければならない状況でしたが、コンサルティングを導入することで、こうした問題の裏に潜む真の原因や課題の解決に対して、とても有効な手段になると思いました。



生産本部 本部長  
坂田 隆一氏



生産本部トンカツ事業部  
部長兼本社工場 工場長  
岡田 裕作氏

## 厳しい指摘だけではなく、視野が広がる可能性を感じた1日工場診断

◆弊社の1日工場診断を受けた印象はいかがでしたか

**坂田氏** 例えば、作業者がまな板で包丁を持って行う検品作業や、肉からナイロンを除去して供給する作業など、そういったそれぞれの箇所での人員バランスの悪さや作業効率のロス、あとは移動距離や材料の載せ替えといった運搬・歩行のロスなど、自分たちでは思いつかないような内容をたくさん指摘いただきました。特に加工肉の前処理工程では、手を動かし、肉を成形する作業は価値を生む作業となりますが、その速度が人によって異なっており、速度の速い人のやり方に合わせれば、もっと価値を生み出せるはずとのことでした。報告書では、「自身で気づいた範囲での改善に終

始し、高い目標へ挑戦して必達する文化を構築できていない」という、厳しいお言葉をいただきましたが、試算上では157%の生産性の向上が期待でき、価値を生み出す作業にもまだまだ改善余地があることから、200%近い向上までをめざせると提案いただき、視野が広がるのを感じました。非常に業績が厳しい中ではありましたが、増田社長から「将来への価値ある投資を行う」と明言いただいたことを記憶しています。

#### ◆コンサルティング導入の決め手はありましたか

**増田氏** 従業員の成長や工場の改革という部分への期待はもちろんありましたし、1日工場診断をふまえて、しっかりと提案を作り上げてきてくれた印象はありました。弊社の改善に取り組みたいという強い熱意を感じたことも覚えています。セミナーの動画を視聴して、自分の思いだけで導入しても意味がなく、現場から声が上がってのことでしたので、大いに成果には期待して導入を決めました。コンサルタントの方とは年齢的にも近いところがあり、みんなとつきやすいというか、話しやすさというのはあるのかもしれません。時折、笑い声も聞こえてきますし、距離感近く指導いただいているお陰かなと思います。そこに成果も出てきているので、今の所は申し分ないですね。

### 基準となる基本のデータ収集や現場からの批判的な言葉もあった導入当初

#### ◆コンサルティングを導入した当初はいかがでしたか

**坂田氏** 私は以前、他社のコンサルティングを受けたことがありましたので、それほど違和感などもなく、タイミング的には一番どん底で何かしないとけないという焦燥感が募っていた時でしたので、期待しているところはありません。また、改善についてはまだまだ伸びしろがあるというご指摘でしたので、私は楽しみでしたし、メンバーも少し余力がある時期でしたので、意外とスムーズに入りやすかったのではないかなと思います。

**岡田氏** やっぱり仕事量が増える、負荷が増えるというイメージが強かったですね。自分自身、畑違いの部署から異動してきたばかりでしたし、自分に何ができ

るのだろうかという思いはありました。ただ、活動を進めていくにつれて、現場の作業員からいろいろな悩みや、実はこういうことがあるという話が聞けるのは、たくさんの気づきにつながりましたし、他の部署も交えた話し合いなど、協議する場所を自然に設けることができているのは非常に重要な部分かなと思います。最初は「うわっ」というのが正直な気持ちでしたが、今はやればやるだけ数値に反映されるので、大きなやりがい、楽しみになっています。

#### ◆コンサルティング導入後は、どういった苦労がありましたか

**岡田氏** 標準時間を決めていくために、一番初めの基本となるデータを集めるところから大変でした。本当にゼロからのスタートでしたので、対応してもらった方には日々の業務がある中、多少残業をしてもらいながら協力して作り上げたのですが、現場はやはりピリピリしていました。「MIB活動をやっているのに、他の業務はできません」というようなこともありましたし、数字が出揃っていない中で人員の少人化をしようとしても、納得してもらえないものがないので、批判的な言葉はやっぱりすごく出てきました。「今日1人休んだから、1人足りないのどうにか用意してください」となって、「でも、その人数でも対応可能ですよね?」と話をしても、「今までは補充していたので、対応してもらわないと困る」と言われたり、あるいは「製品に何か問題が出るのではないですか」や、できないようにするためのいろいろなものを集めてきたりとか、一時期はそんな感じでした。もったいないと感じながらも、説得できるだけの根拠を示せるまではとても苦労しましたね。



コンサルティング指導風景



事業部に関しては、MIB活動が始まって3年が経過し、今期中には労働生産性140%の目標は達成していきたいですね。また、惣菜事業部に関しても、観音寺工場は10年くらいかけて今は非常に業績が良い状態で、本社工場においても今年の5月9日に惣菜事業の改修工事が終わりましたので、今後は人員を徐々に集めつつ、観音寺工場と合わせて、MIB活動で生産性を上げていきたいと思っています。

**岡田氏** 労働生産性に関しては今期140%達成を目標にしていますが、最終的にはあくまで200%達成を目

標に進めていきたいと考えています。現在、管理に注力していただき、人員の運用や余力の活人化というのは非常に進められてきていると感じています。設備面では、まだまだ改善できる部分が多くあると分析いただいておりますので、今後はそういった設備改善、投資に関わるような改善にも携わり、あくまで労働生産性200%に到達できるよう、さまざまな分析を行いながら取り組んでいきたいですね。

◆本日はありがとうございました

## インタビューにご協力いただいた方

サヌキ畜産フーズ株式会社



代表取締役社長  
増田 浩 様



生産本部  
本部長  
坂田 隆一 様



生産本部トンカツ事業部  
部長兼本社工場 工場長  
岡田 裕作 様



本社外観

## 企業概要

社 名 サヌキ畜産フーズ株式会社

代 表 者 代表取締役社長 増田 浩

設 立 1980年(昭和55年)10月9日 サヌキ畜産加工協同組合・組合員5企業を以って設立

所 在 地 香川県三豊市詫間町詫間2112番地140

事業内容 食肉製品加工、製造販売

■主要品目 冷凍カツ類(トンカツ・チキンカツ・メンチカツ・野菜巻きカツ・ハムカツ・ビーフカツ各種) ポーションカット、個食惣菜、介護食、ハム、ベーコン、その他調理食品



サヌキ畜産フーズ株式会社

## 担当コンサルタント

株式会社テクノ経営総合研究所 石垣 亮磨

前職は食品メーカーで勤務し、現場作業から生産管理や生産技術、品質管理など、幅広く携わる。特に改善・改革に力を入れ、グループ会社の東北ブロック改善担当を任されるほか、新工場の立ち上げにも従事。その後はコンサルタントに転身し、現在ではさまざまな分野の製造業に対して、生産性向上や意識改革にむけた活動に取り組んでいる。



# テクノ技術セミナー

他社との明確な差別化が図れる革新的な製品開発能力や、顧客の要求に対して確実に応えられる生産技術力への要請が高まる中、モノづくりのエキスパートがそのノウハウをあますことなくご提供する当社の「技術セミナー」は、実践的かつ多彩なテーマで「明日から現場で実践できる」セミナーとしてご好評をいただいております。生産・技術部門ご担当者様のご参加をお待ちしております。

動画配信セミナー【コース開催】			
配信日時	セミナー名	受講料(税込)	講師
<b>生産技術研修 塾(全6回コース) 10月入塾生募集中!</b>			
9月25日(水) 13:30～ 10月1日(火) 17:00まで	第1回:製品の生産設計手法 製品を作りやすく、生産工程をシンプルに、設備は安く	(セット価格) 231,000円	清水 英男
9月25日(水) 13:30～ 10月1日(火) 17:00まで	第2回:モノづくり工程設計 生産技術者の主務=工程設計 結果は管理工程図に		
10月2日(水) 13:30～ 10月8日(火) 17:00まで	第3回:製造原価の仕組み 生産技術者が知っておくべき原価計算基礎知識・経理用語		
10月2日(水) 13:30～ 10月8日(火) 17:00まで	第4回:現場改善(IE手法の実践) 各種IE手法を用いてムダを発掘 その改善策		
10月9日(水) 13:30～ 10月15日(火) 17:00まで	第5回:設備設計、自動化・IoT AI・ロボット導入 新技術の数々を紹介		
10月9日(水) 13:30～ 10月15日(火) 17:00まで	第6回:工場レイアウト設計手法 生産技術力の全てが工場の出来栄に現れる		
<b>設計開発 次世代リーダー育成 短期集中!『特訓道場』全3回コース</b>			
9月25日(水) 13:30～ 10月1日(火) 17:00まで	第1回:(1)「強み」と「弱み」を知る (2)今求められているリーダー像 (3)重要度・緊急度の見極め	(セット価格) 115,500円	高橋 恒夫
10月2日(水) 13:30～ 10月8日(火) 17:00まで	第2回:(4)高い設計品質を作り込むには (5)衆知を集めることの重要性 (6)業務仕分けで業務バランスを改善		
10月9日(水) 13:30～ 10月15日(火) 17:00まで	第3回:(7)業務フローの見直しで後戻りを徹底削減 (8)原価低減の押さえどころ		
<b>次期工場長 スキルアップ研修 塾 全6回コース</b>			
9月25日(水) 13:30～ 10月1日(火) 17:00まで	第1回1章:[生産技術 生産体制の全ストーリーを作るのが生産技術の使命である] 第1回2章:[生産管理 生産計画は工場の全てに影響を与える 数字はバイブルであると考えよ] 第1回3章:[資材購買 良い物を安く仕入れる 共栄会社は自社の一部と考え、育成する]	(セット価格) 165,000円	清水 英男
10月2日(水) 13:30～ 10月8日(火) 17:00まで	第2回4章:[製造 製造の使命は決められたことを守ること 強い現場は正しい要求を出せる現場] 第2回5章:[品質管理 不良は前工程で潰せ 品質=性能と信頼性 不良は最大の改善チャンス] 第2回6章:[人事経理 経理の仕組みを知る 人を育てる工場運営方法4つの人材とは]		
<b>品質保証 専門塾 全6回コース</b>			
9月25日(水) 13:30～ 10月1日(火) 17:00まで	第1回:品質管理の概要 品質管理と品質保証、異常の定義/異常管理手順ほか 第2回:技術部門の品質保証活動 DRと品質会議、設計FMEAとは	(セット価格) 231,000円	竹中 弘路
10月2日(水) 13:30～ 10月8日(火) 17:00まで	第3回:製造部門の品質保証活動 製造品質とは、作業標準/作業要領/作業手順書 第4回:品質保証部門の品質保証活動 品質保証部門の役割 なぜなぜ分析とは		
10月9日(水) 13:30～ 10月15日(火) 17:00まで	第5回:品質管理における統計学 QC7つ道具とは ヒューマンエラー/ポカヨケとは/撲滅方法 第6回:全社活動と企業事例紹介 品質保証の今後について リスクマネジメント		

動画配信セミナー	
【配信日時】(第1回)9月18日(水)13:30～9月20日(金)17:00まで (第2回)10月9日(水)13:30～10月11日(金)17:00まで (第3回)10月21日(月)13:30～10月23日(水)17:00まで 【受講料(税込)】33,000円	
セミナー名	講師
管理職・チームリーダーのための ヒヤリハットと心理的安全性 ～Bad News Firstの組織風土で優秀な人材の流出を防ぐ～	高橋 恒夫
これさえマスターすれば、目視検査はうまくいく! ～疲労が少なく、見逃しがなく、生産性が高い目視検査を実現!!～	篠田 正行
安全で働きやすい職場を創る 5から始まる5つの意識改革 ～Seiri Seiton Seisou Seiketsu Shitsuke～	伊藤 芳正
製造現場・間接部門に於ける 見える化の基本	田中 順
～安全・品質・効率が劇的に改善～ 後戻りしないヒューマンエラー対策!	岩崎 行緒
管理者のための 問題解決力を鍛える	岩崎 行緒
成果を生み出す 品質管理活動	岩崎 行緒
生産性向上の4つのステップ 強い現場の作り方	坂口 洋一郎
製造現場担当者のための原価管理 ～知っておきたい基礎知識～	坂口 洋一郎
効率的な段取り改善法 多品種小ロット生産 変種変量生産に対応!	坂口 洋一郎
設計現場の問題解決 ～ムダを排除して価値ある設計業務を創造する～	橋本 公一
失敗しない 品質保証の考え方、進め方【実践】	竹中 弘路
トラブル徹底攻略 原理原則からのなぜなぜ分析 実践編 ～真因を追求し再発防止につなげる～	竹中 弘路
不良低減 ポカヨケ改善の進め方 ～品質保証レベルを向上させる～	竹中 弘路
中小企業向け 明日から使える業務改善 RPA入門 ～Power Automate Desktopを使ってみよう～	石橋 宏司
チームビルディング ～みんなの本気を引き出す!今どきの～	川名 輝久生
基礎編 「なぜなぜ分析」(日本語版) ～品質不良の再発・未然防止、根本要因の解明に役立つ改善手法～	川名 輝久生
工場改革を加速させる “IEの基礎”	和田 開
工場改革を加速させる “ムダ取りの基本” ～余力刈取り型ではなく余力創出型へ～	和田 開
職場で生きる!QC手法 ～利益改善への活用方法～	高橋 浩志
設備トラブルをなくす 故障分析の基礎	石田 敬亮

■お問い合わせ先: TEL.06-6910-0861 担当:木内 E-mail:info@tmng.co.jp



# 経営革新セミナー

これまで4,500件以上の企業変革をサポートさせていただいた経験から得た知識、ノウハウを、経営革新に取り組みられているマネジメント層の方にご提供する当社の「経営革新セミナー」は、経営トレンドに沿ったテーマ設定と現場起点での企業価値最大化に向けたヒントとアイデアが濃縮されたセミナーとしてご好評をいただいております。チェンジリーダーの皆様のご参加をお待ちしております。

開催スケジュール（2024年9月～10月）		
開催日	開催場所・形式	セミナー内容
9月 3日(火) 9月10日(火) 9月16日(月)	ウェブ配信	<b>人を選ばない工場をつくる。</b> 【受講料】5,000円 【時間】8:00～24:00 【視聴時間】約70分 【担当講師】株式会社テクノ経営総合研究所 平井 康之
9月 9日(月) 9月10日(火) 9月11日(水) 9月12日(木)	ウェブ配信	<b>低価格DXによる工場改革</b> ～従業員300名以下製造業ご経営者様向け～ 【受講料】5,000円 【時間】8:00～20:00 【視聴時間】約90分 【担当講師】株式会社テクノ経営総合研究所 花井 康孝
9月10日(火) 9月11日(水) 9月13日(金)	ウェブ配信	<b>ゆるい設計開発が会社を潰す</b> ～高付加価値製品が出せない!～ 【受講料】5,000円 【時間】8:00～24:00 【視聴時間】約80分 【担当講師】株式会社テクノ経営ウェブソリューションズ 高橋 恒夫
9月13日(金) 9月19日(木) 9月24日(火)	ウェブ配信	<b>利益を最大化する組織の条件</b> ～なぜ、その組織は利益を生まないのか?～ 【受講料】5,000円 【時間】8:00～24:00 【視聴時間】約90分 【担当講師】株式会社テクノ経営総合研究所 中川 勝之
9月13日(金) 9月19日(木) 9月25日(水)	ウェブ配信	<b>『品質経営』に舵を切る</b> 【受講料】5,000円 【時間】6:00～24:00 【視聴時間】約60分 【担当講師】株式会社テクノ経営総合研究所 進藤 淳
9月18日(水) 9月20日(金) 9月26日(木)	ウェブ配信	<b>工場刷新 成功の法則</b> ～ありたい姿を実現するために今行うべきこと～ 【受講料】5,000円 【時間】8:00～24:00 【視聴時間】約90分 【担当講師】株式会社テクノ経営ウェブソリューションズ 清水 英男
9月20日(金) 9月23日(月) 9月25日(水) 9月26日(木) 9月27日(金)	ウェブ配信	<b>仕事の質を変える</b> ～少量生産時代を勝ち抜く「ものづくり」とは～ 【受講料】5,000円 【時間】8:00～24:00 【視聴時間】約90分 【担当講師】株式会社テクノ経営総合研究所 細川 比呂志
9月24日(火) 9月26日(木) 10月 2日(水)	ウェブ配信	<b>育て方を変えれば工場が変わる 次世代が自ら考え行動する人づくり</b> ～可能性を最大限に引き出す戦略的人材育成～ 【受講料】5,000円 【時間】8:00～24:00 【視聴時間】約60分 【担当講師】株式会社テクノ経営総合研究所 手島 静雄
10月10日(木)	大阪	<b>多品種少量 中小メーカー『逆転の方程式』</b> ～苦しむ経営陣に捧ぐ～ 【受講料】10,000円 【時間】13:30～16:30 【会場】大阪新阪急ホテル 【担当講師】株式会社テクノ経営総合研究所 山本 知秀

■お問い合わせ先：TEL.06-6910-0078 担当：清水 E-mail:info@tmng.co.jp

# 変革への 第一歩が ここにある

<https://www.tmng.co.jp>

最初の一歩を踏み出すための  
テクノ経営総合研究所の変革支援ツール

経営革新セミナー



テクノ技術セミナー



情報誌「ASAP」

Powered by VPM®



経営視点で現場を企業の成長エンジンに変える。  
「VPM®」は人の意識と行動を変革し、企業価値の向上を図る、  
テクノ経営総合研究所独自のコンサルティング・メソッドです。

1980年9月設立  
4,500件以上のコンサルティング指導実績

 株式会社 テクノ経営 総合研究所

2019年2月設立  
デジタル領域での新サービスを提供

 株式会社 テクノ経営 ウェブソリューションズ

# 4,500件以上の現場から得た「知」の集積を御社の改革に

テクノ経営総合研究所では1980年の創業以来、国内外で約4,500件以上の指導実績があります。

これらの現場から得た貴重な情報や経験をもとにした各種セミナー、最新の改善活動をレポートする情報誌の提供により、企業変革の第一歩を支援します。

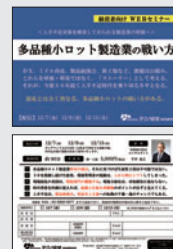
## 経営革新セミナー

対象：経営者、マネジメント層

絶賛開催中

### 企業価値最大化に向けた変革のアイデア

経営革新に取り組まれている経営者・マネジメント層の方を対象とする「経営革新セミナー」は、弊社コンサルタントが講師を務め、経営トレンドに沿ったテーマ設定で、現場起点での企業価値最大化に向けたヒントやアイデアが濃縮されたセミナーです。



詳しくはこちらへ

<https://www.tmng.co.jp/seminar/>



## テクノ技術セミナー

対象：生産・技術部門ご担当者

絶賛開催中

### ものづくり現場の課題解決に実践的ヒント

他社との明確な差別化が図れる革新的な製品開発力や、顧客の要求に対して確実に応えられる生産技術力への要請が高まる中、ものづくりのエキスパートがそのノウハウをあますことなく提供する「テクノ技術セミナー」は、明日から現場で実践できるセミナーです。



詳しくはこちらへ

<https://www.tmng.co.jp/seminar/seminarlist/?skbn=3>



## 情報誌「ASAP」

対象：改善活動ご担当者

無料配布

### 最新の改善活動現場をレポート

ものづくり現場のさまざまな課題に対する企業の先進的な取り組みをケーススタディとして紹介。改善活動の導入を検討中のご担当者へ参考となる情報を提供しています。



詳しくはこちらへ

<https://www.tmng.co.jp/asap/>



セミナーのお問合せ、  
ASAP購読のお申し込み先

フリーダイヤル



0120-35-34-35 [平日9:00~17:00]


◎お掛け間違いに、ご注意ください◎一部のIP電話などつながらない場合は、06-6910-0861(有料)へお掛けください。

# 現状を知り 未来を変える ための出発点

## テクノ経営の 1日工場診断

\ お気軽に、ご相談ください。 /

フリーダイヤル

 0120-35-34-35

◎お掛け間違いに、ご注意ください◎一部のIP電話などつながらない場合は、06-6910-0861(有料)へお掛けください。

ものづくりの現場を  
専任のコンサルタントが  
プロの目で徹底診断

現状の人員・設備を前提に、いかにして将来的な収益へと結びつけるか。  
テクノ経営の工場診断は、客観的かつ数字に基づいた具体的な方法を、  
1日の工場診断をもとにご提案する制度です。

現在、抱えている  
問題・課題



具体的な  
解決策と進め方



目指す姿  
ありたい姿

 株式会社 **テクノ経営** 総合研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7(九段センタービル)  
TEL:03-3512-2601 FAX:03-3262-0277 <https://www.tmng.co.jp>

テクノ経営の1日工場診断、  
さらに詳しい内容はこちらから。



[https://www.tmng.co.jp/about/#diagnosis\\_block](https://www.tmng.co.jp/about/#diagnosis_block)

# 製造業の未来を変えていく

私たちとともに、製造業の未来を変えていく仲間を募集しています。

## 募集職種



現場改善コンサルタント



コンサルティング営業職

私たちが手掛けるのは、製造業に特化したコンサルティング事業。  
モノづくり企業が抱えるさまざまな経営課題に対して、当社独自の改善・  
改革手法「VPM®」を強みにあらゆる角度からアプローチ。  
現場や意識を変え、そして経営成果へとつなげていくために。  
製造業の未来を、私たちとともに変えていこう。

VPM® … Value Producing Management

## 国内トップクラスの製造業コンサルティングファーム テクノ経営総合研究所

独立系コンサルティング会社  
製造業部門 No.1

創業45年  
4,500件以上の指導実績

海外の活躍フィールド  
世界11ヵ国

生産性向上 | リードタイム短縮 | 少人化 | 活人化 | 在庫削減 | 品質向上 | 不良低減 | 人材育成  
製品設計改善 | 開発プロジェクト改善 | 総合収益改善 | 物流コストダウン | 歩留り向上 | DX推進



まずは会社説明会へご参加ください

※詳しくはQRコードからご確認ください。



ものづくりの原点に革新を

株式会社 **テクノ経営** 総合研究所

— 新しいフィールドがここにある —



## COMPANY OVERVIEW

### OUR OUTLINE

商号	株式会社テクノ経営総合研究所 (TECHNO MANAGEMENT RESEARCH INSTITUTE CO.,LTD.)
代表者	代表取締役社長 隅谷 洋 (SUMITANI HIROSHI)
事業内容	コンサルティング事業 人材事業 教育研修事業
設立	1980年9月1日
本社	〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7(九段センタービル) TEL(03)3512-2601 FAX(03)3262-0277 URL:https://www.tmng.co.jp
資本金	1億円
事業所	東京、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡、タイ

### OUR NETWORK

東京オフィス	〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7(九段センタービル) TEL(03)3512-2601 FAX(03)3262-0277
仙台オフィス	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4-10-3(JMFビル仙台01) TEL(022)200-7220 FAX(022)200-7221
名古屋オフィス	〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1(名古屋国際センタービル) TEL(052)583-1723 FAX(052)583-1724
大阪オフィス	〒540-0037 大阪府大阪市中央区内平野町2-3-14(ライオンズビル大手前) TEL(06)6910-6797 FAX(06)6910-5897
広島オフィス	〒732-0052 広島県広島市東区光町1-10-19(日本生命広島光町ビル) TEL(082)261-1235 FAX(082)261-1236
福岡オフィス	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-2-2(博多東ハニービル) TEL(092)413-4545 FAX(092)413-4546

### OUR GROUPS

	株式会社テクノ経営ウェブソリューションズ
本社	〒540-0037 大阪府大阪市中央区内平野町2-3-14(ライオンズビル大手前) TEL(06)6910-6780 FAX(06)6910-5897
東京オフィス	〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7(九段センタービル) TEL(03)3512-2602 FAX(03)3262-0277
	Techno Management Consulting(Thailand) Co.,Ltd.
タイ法人	32/33 Sino-Thai Tower 12F,Sukhumvit 21 Road (Asoke),Klongtoey Nua, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL +66(0) 2665 2791,+66(0) 2665 2792 FAX +66(0) 2665 2793



IS511298/ISO(JIS Q)27001

本誌についてのご意見、ご感想をお聞かせください

E-mail:info@tmng.co.jp FAX:06-6910-5897

ASAP編集部まで

アサップ【ASAP】年3回発行 発行責任者:清水 和史

テクノ経営総合研究所に関する  
詳しい内容、お問い合わせ等は  
ホームページをご覧ください。

